

明日にむかって

●発行/陽光保育園創立40周年記念事業実行委員会 ●発行日/1987年11月3日

1989年8月に陽光保育園は創立40周年を迎えます。水道タンク前の緑陰保育からスタートし、地域の方々や歴任の役員職員の皆さんの温かい協力と支援によって、今日も「子どもたちの城」として、陽光は保育活動を通して「健やかな子どもの育ち」のため、がんばっています。しかしながら、保育園をめぐる環境は徐々に厳しさを増しつつあり、解決しなければならぬ問題も山積しています。私たちは、この地域に根づいた陽光の一層の発展を願ってこの40周年という時点をステップにして、さらに活動を活性化していくつもりです。89年に向けてさまざまな行事も企画されており、皆さまの温かいご支援を今後ともお願いいたします。

'89年に不惑々迎える陽光

■四十周年にむけて各種の行事を計画 ■願いはひとつ『子どもたちの健やかな育ち』

今年の夏、陽光保育園は三十八回目の創立記念日を迎えました。

永い苦しい戦争が終って周もなくの時です。水道タンクの木陰で紙芝居やうたを歌っての青空保育をはじめ、めたのが昭和二十四年の夏です。このまま子どもたちを放ってはおけないということ、大人たちは知恵を出しあい、力をあつめて、一年後の夏には定員・二十五名/設置者・陽光保育園の会/名称・陽光保育園ということで、児童福祉施設の認可をとりました。(大谷口二丁目丸茂氏により園舎貸与)

その後間もなく移転しなければならなくなり、園舎新築へむけて共同購入、映画会、廃品回収、土地さがし等々がはじまり、昭和二十六年十月に現在のこの場所に新園舎落成となりました。その後入園希望者が激増(昭和二十八年)、措置費は一人月額八〇〇円—うち給食費一日七円十銭という中で、夏ミカンの販売

をしたり、映画会を開催したりして園の運営費を生みだしていたとこのころです。そうした中でも、もちつき(昭和二十九年、はじめてのもちつきには、園児一人につき配給米五勺又は十円持参)の行事を行ったり、子どもたちへのプレゼントのために糸まりや熊のぬいぐるみの手芸講習会も開かれたりして、子どもたちへの楽しみをつくり出していたようです。さらに、近隣保育園との合同運動会、父母や職員のための勉強会、旅行会、学童保育所づくり、小学校の先生との懇談会(昭和三十六年/第十、第六、大谷口、大山、上板橋

二、朝鮮小等の教師が参加)等々、昭和四十二年社会福祉法人陽光会誕生までの間、現理事長の平沢静子先生(初代園長)を先頭に、さまざまなとりのみの中で、数々の保育所の危機をのりこえて、陽光保育園は今日も保育活動を続けているわけです。二年後の一九八九年に創立四十周年を迎えようとしている。あらためて、陽光保育園自らの存在を確かめ、世の中の新しいまなうねりの中で、多くの先輩たち方そうしてきたように、しっかりと歩みを進めて、心をひとつにしならんべり、明日にむかって、ま歩み続けなければなりません。

戦後四十年を過ぎてもま、日本の子どもたちをとりまく環境は、そのすこやかな育ちを保障するものではありません。陽光保育園が長い歴史の中で築いてきたもの、人々のねがいとして目前にかかっているさまざまな課題、私たち大人が果していかねばならない仕事はいっぱいあります。この春に理事会の呼びかけにより、父母の会、後援会、職員、理事の代表によって創立四十周年実行委員会が発足しました。そのはじめの仕事を九月五日に催された「創立三十八周年の夕べ」です。創立四十周年



名曲バックにジヨッキ傾ける

— 38周年記念ビア・パーティー

水道タンク前の緑陰保育からスタートした陽光保育園も、89年に創立四十周年を迎えます。

この四十周年にむけて、さまざまな記念事業を積みあげ、園と卒園者、その父母、また地域の方々、保育園を支えて下さっている方々と交流を深めるため、九月五日に「陽光保育園三十八周年記念の夕べ」—ビア・パーティーが開かれました。

園庭には生ビール(父母の会、おでん(職員)、焼鳥(理事)、焼そば、煮込み(後援会)などのスタンドが並び、日本フィルメンパーに

にむけて、いっしょに計画されるでしょう。実行委員会はこのように行事を通して、父母と、職員と、理事、そして地域の人々が、子どもとのしあわせのために、心をひとつにできることを願っています。そして陽光保育園の子どもたちや地域の……日本の……世界中の子どもたちが、少しでもよい環境ですこやかに育っていくことが出来ることを願ってこの仕事にとりかかりました。

陽光保育園
創立四十周年実行委員会
実行委員長 星野 紀

第三回創立四十周年 実行委員会開く

第三回創立四十周年実行委員会が九月十二日、陽光保育園で開かれ、九月五日に開かれた三十八周年記念の夕べのまとめ、②実行委員会の役割と参加団体の確認、今後の仕事の進め方、③今後のとりくみなどについて討議しました。

委員会の構成は、理事会、職員、父母の会、後援会の四者による協力事業を進めていく事とし、理事会からは星野、吉永、小林(武)、津田、職員からは細川、内田、田上、及川、父母の会からは北原、平井、中川、

記念誌発行の 準備にも着手

一九八九年の創立四十周年にむけて、記念誌発行の準備が、記念誌係を中心に行われています。七九年の三十周年の際には、記念誌「明日にむかって—みんなで歩んだ三十年」(B5判・72頁)が発行されました。この冊子は、創立からの三十年間、陽光を支え、育てて下さった方々の証言集という形で構成され、新しく入園された父母にも、陽光の歴史を知っていただき、陽光の保育方針を知っていただくための資料として現在も配布されています。

さて、四十周年の記念誌は、陽光保育の実践記録を中心に、それをある程度理論化して行く方針です。0才児保育、障害児保育など地域の要求に呼応して、積極的に課題にとりくんできた陽光の保育記録をキチンとした形で残そうというの狙いですが、山のような記録の整理から始めなければならず、一冊にまとめるためには、かなりの難関が待ちかまえているという点では、記念誌係の共通した認識です。皆さんのご協力を仰がねばならない事も多いと思えますので、よろしくお願い致します。

陽光冬のバザー

いつ... 12月6日 (日)

じかん... 10時 ~ 14時

ところ... 陽光保育園全館

おねがい

- 共同購入できるいい品をご紹介ください。
- 当日、出店できるお店をご紹介ください。
- 寄贈品・手芸品は大歓迎です。皆さまのご協力をお願いいたします。

主催 / 陽光保育園後援会

おしらせ

12月12日(土)

■主催
陽光保育園父母の会

クラシック・ギター

コンサート

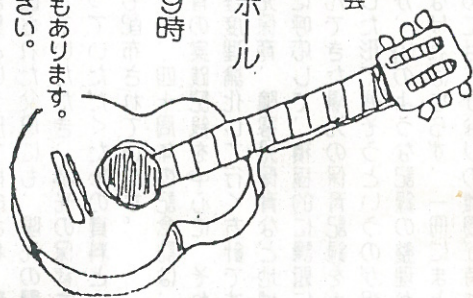
奏者 大城 松 健 氏

スペイン留学から帰国し、お約束通り
陽光保育園でコンサートを開きます。

●ところ 陽光保育園ホール

●じかん 13時~19時

★入場無料。
★当日は保育もあります。
ご利用ください。



らいねん 1月23日(土)

■主催 陽光保育園創立四十周年
記念事業実行委員会

陽光新春落語会

落語の熱心なファンはともかく、生の落語をきく機会は少ない
と思います。そこで、来年一月二十三日(土)午後八時半から
陽光新春落語会を、陽光保育園ホールで開催
する予定です。
演者は、柳家小さん門
下の柳家小はん師匠。
どうぞ楽しみに。詳細は後日お知らせします。

ご協力ください!

■陽光保育園でもの
しあわせを願う会

陽光保育園でものしあわせを願う会が、津のリンゴの木オーナーになりました。
(財政活動のひとつとして)
そのひと枝分リンゴを予約して、是非ご協力ください。

*ただ今、保育園で電話の予約を受付けています。なるべく早くお願いします。

品 種	フジ
販売価格	10kg(32~46ヶ) 4,300円 5kg 2,200円
おとどけ 予定期間	11月中旬と12月下旬

